

平成30年 月 日

（名称）中間市地域公共交通会議

生活交通確保維持改善計画の名称

中間市地域内フィーダー系統確保維持計画

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

中間市には、南北約4キロメートル、東西約6キロメートルの約16平方キロメートルの市域の中に、さまざまな公共交通機関が運行しており、通勤や通学、買い物や病院への通院など日常生活の移動に広く利用されている。

鉄道では、JR筑豊本線（福北ゆたか線）と筑豊電気鉄道がそれぞれ市の中心部を走り、市内から福岡市天神までを結ぶ、西鉄高速バス「なかま号」とともに、住民の広域移動を支えている。また、市内のバス路線としては、西鉄バス中間線が、通勤・通学、買い物、病院への通院など日常生活の足として1日約450人、年間約16万人の方が利用している。さらに、タクシー事業者4社によって、自宅から目的地までのドア・ツー・ドアのきめ細かな運行を行っており、鉄道駅及びバス停から離れた場所にお住まいの方や、停留所までの移動が困難な方などにとって、欠かすことのできない移動手段となっている。

しなしながら、少子高齢化に伴う人口の減少やマイカーの普及により、地域公共交通の利用者は年々減少傾向にあり、収益悪化による減便や路線の廃止などの影響が、公共交通の利用者離れを引き起こすなど、公共交通の負のスパイラルが引き起こされている。近年では、平成25年3月に、直方バスセンターから筑鉄中間までを運行していた西鉄バス中山中間線が廃止となり、また、路線廃止が検討された西鉄バス中間線は、平成21年4月から赤字補填を行うことで運行を継続している状況である。また、鉄道では、JR筑豊本線の筑前垣生駅が、平成26年7月から無人駅となり、平成29年3月からは中間駅においても、駅係員を廃止して防犯カメラとインターホンを通じた遠隔操作でお客様支援を行うスマートサポートステーションが導入された。さらに、平成30年3月のダイヤ改正では、直方駅から黒崎駅間において、利用者の少ないデertime（概ね10から17時）の時間帯に往復8便が減便となることが発表され、利便性の低下による公共交通離れに拍車がかかることが懸念される。

このような状況の中で、高度成長期時代に、山を切り開いて宅地開発を行った地形的に高低差のある地域や、遠賀川の西側地区のようにバス路線の廃止により身近な公共交通のない交通不便地域の住民が、高齢化の進展とともに、日常生活の移動に困難な状況が問題となっている。特に、市東部に位置する中間南校区においては、隣接する北九州市のベッドタウンとして、昭和30年代に山を切り開いて筑豊電気鉄道の沿線に宅地開発を行った地区であることから、地形的に高低差があり、最寄りの駅やバス停と、住宅との高低差が大きく、高低差による公共交通不便地が存在していた。また、市西部に位置する底井野校区では、西鉄バス中山中間線の廃止により、JR筑前垣生駅以外に公共交通の乗り場がなくなり、公共交通空白地域が広がっていた。

このため、買い物や通院等の日常の移動手段を確保するため、中間南校区では、平成27年10月から運行を開始した通谷団地口～中間市立病院系統、及び中間南小学校前～中間市立病院系統の地域公共交通を維持すること、底井野校区では、平成28年10月から運行を開始した下大隈公民館～中間市立病院系統、及び砂山7組～中間市立病院系統の地域公共交通を維持することに取り組む、さらに平成29年10月に実施した南校区住民座談会や、底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の利用実態に関するアンケート調査結果から得た住民ニーズを把握しながら、運行改善に努めるとともに、市がめざすコンパクトシティの形成に向け、JR中間駅等の都市機能の集積を図る都市拠点と周辺地域との交流を図るための公共交通ネットワークの構築をめざす。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

1) 事業の目標

【中間南校区路線】

(平成31年度)

- ① 太賀・朝霧系統の利用者数を年間 1,630 人以上とするとともに、収支率を 20%以上とする。
- ② 通谷・桜台系統の利用者数を年間 1,630 人以上とするとともに、収支率を 20%以上とする。

(平成32年度)

- ① 太賀・朝霧系統の利用者数を年間 1,640 人以上とするとともに、収支率を 20%以上とする。
- ② 通谷・桜台系統の利用者数を年間 1,630 人以上とするとともに、収支率を 20%以上とする。

(平成33年度)

- ① 太賀・朝霧系統の利用者数を年間 1,640 人以上とするとともに、収支率を 20%以上とする。
- ② 通谷・桜台系統の利用者数を年間 1,610 人以上とするとともに、収支率を 20%以上とする。

(目標設定の考え方)

平成 28 年 10 月から平成 29 年 9 月までの 1 便あたりの利用者数を見ると、太賀・朝霧系統 1.09 人、通谷・桜台系統 1.03 人と、各系統とも 1.0 人前後という状況にあるが、今回の平成 31 年度計画では、平成 29 年 10 月にイオンなかま店敷地内に停留所新設し、気軽に買い物等に行くことができる環境整備を行い、利用促進に取り組んでいることから、平成 30 年度計画と同様、1 便あたりの利用者 2.0 人を目標に掲げ、年間運行日数平成 31 年度は 204 日、平成 32 年度は 205 日、平成 33 年度は 204 日に乗じて、年間の利用者数及び収支率の目標を設定している。

また、収支率については、平成 28 年 10 月から平成 29 年 9 月までの実績値が、太賀・朝霧系統 14.34%、通谷・桜台系統 12.23%であることから、太賀・朝霧系統、通谷・桜台系統とも 20%以上を目標値として設定している。

(中間市地域公共交通網形成計画 P68 と 69 参照)

【底井野校区路線】

(平成31年度)

- ①垣生・下大隈系統の利用者数を年間1,420人以上とするとともに、収支率を30%以上とする。
- ②砂山・底井野系統の利用者数を年間1,420人以上とするとともに、収支率を30%以上とする。

(平成32年度)

- ①垣生・下大隈系統の利用者数を年間1,440人以上とするとともに、収支率を30%以上とする。
- ②砂山・底井野系統の利用者数を年間1,420人以上とするとともに、収支率を30%以上とする。

(平成33年度)

- ①垣生・下大隈系統の利用者数を年間1,440人以上とするとともに、収支率を30%以上とする。
- ②砂山・底井野系統の利用者数を年間1,410人以上とするとともに、収支率を30%以上とする。

(目標設定の考え方)

平成30年度計画と同様、1便あたりの利用者2.0人を目標に掲げているが、平成28年10月から平成29年9月までの運行率を見ると、約49%という状況にある。しかしながら、平成29年10月にイオンなかま店敷地内に停留所を新設して以降の平成29年10月から平成29年12月までの3か月間の運行率をみると、62.5%と増加傾向にあるため、今回の平成31年度計画では、1日の運行便数全8便のうち7便(運行率87.5%)を運行することとし、平成31年度は年間運行日数204日、運行回数1,428回、平成32年度は年間運行日数205日、運行回数1,435回、平成33年度は年間運行日数204日、運行回数1,428回とする。さらに、各系統の平成28年10月から平成29年9月までの実車走行キロの平均値から垣生・下大隈系統3.8km、砂山・底井野系統4.2kmと想定して、計画実車走行キロを算出し、3か年を通じた年間の利用者数及び収支率の目標を設定している。

また、収支率については、平成28年10月から平成29年9月までの実績値が、垣生・下大隈系統18.30%、砂山・底井野系統19.36%であることから、垣生・下大隈系統、砂山・底井野系統とも30%以上を目標値として設定している。

(中間市地域公共交通網形成計画 P68と69参照)

(2) 事業の効果

中間南校区路線については、高齢化が進む太賀や通谷などの丘陵地の団地において、高齢者をはじめとする地区住民の日常生活に必要な移動手段が確保され、お出かけ機会の創出等への効果が期待できる。底井野校区路線については、西鉄バス中山中間線が廃止以降、大部分が公共交通空白地となった底井野校区において、日常の買い物や病院への通院等のための移動手段の確保、及び西部地域と東部地域をつなぐことによる、両地域の交流促進等につながる。

さらに、平成29年10月から商業施設であるイオンなかま店の敷地内に停留所を新設することで、日常の買い物への負担軽減を図り、気軽に外出できる移動手段の確保及び地域の活性化につながる。

また、谷間を運行する幹線バス路線である西鉄バス中間線、及び広域運行を行う、西鉄高速バス「なかま号」、筑豊電気鉄道といった既存の公共交通機関と連携を図ることで、利便性の向上による利用促進や、市がめざしているコンパクトシティ形成に向け、都市拠点と周辺地域との交流及び都市内の円滑な移動を支えるネットワークの構築につなげることができる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・平成28年度に実施した南校区コミュニティバス「フレンドリー号」の利用実態に関するアンケート調査結果及びモニタリング調査結果や平成29年度に実施した住民座談会で得た住民ニーズを分析し、運行改善や利用促進策の検討を行うとともに、事業の効果検証を行う。(中間市・事業者)
- ・平成29年度に実施した底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の利用実態に関する調査結果及びモニタリング調査結果や平成30年度に実施する住民座談会の結果を受けて、運行改善や利用促進策の検討を行うとともに、事業の効果検証を行う。(中間市・事業者)

(中間市地域公共交通網形成計画 P68 から 71 まで 参照)

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付

【中間南校区路線】

- ① 予定している時刻 別紙事業計画書及び運行計画書のとおり
運行予定期間 平成27年10月1日から運行開始済み
平成29年10月からイオンなかま店敷地内に停留所を新設。
- ② 運行事業者の決定の経緯
一般社団法人北九州タクシー協会に中間市内に営業所のあるタクシー事業者の中から運行事業者の推薦を依頼し、運行主体となる事業者を決定。
- ③ 地域内フィーダー系統の補足
中間市には、地域間幹線系統である西鉄バス中間線が、市内を循環するように運行し、西鉄高速バス「なかま号」及び筑豊電気鉄道が、地域住民の広域移動を担っている。中間南校区路線（①太賀・朝霧系統②通谷・桜台系統）は、同校区に居住する住民の日常生活における買い物と病院への通院を目的とした路線であるとともに、同校区が、山を切り開いて宅地開発を行った非常に高低差のある移動困難な地域であることから、交通不便地域における移動手段の確保を行うことを目的としている。また、中間南区路線を新設した際には、既存の公共交通機関の利用促進を第1の基本方針に定め、経由地である通谷電停において、西鉄バス中間線及び西鉄高速バス、筑豊電気鉄道を接続することで、生活交通路線としての機能を高めている。
さらに、既存の公共交通機関、特に西鉄バス中間線との競合を避けるため、運行時間帯については、8時台から16時台までと通勤通学者の利用時間帯を避け、日常の買い物、病院への通院する利用者をターゲットとした運行としており、運賃についても、定額200円と西鉄バス中間線の初乗り運賃170円を下回らないよう設定している。

【底井野校区路線】

- ① 予定している時刻 別紙事業計画書及び運行計画書のとおり
運行予定期間 平成 28 年 10 月 1 日から運行開始済み
平成 29 年 10 月からイオンなかま店敷地内に停留所を新設。
平成 30 年 1 月 19 日からにしてつストアの建替え工事のため停留所を移設。
- ② 運行事業者の決定の経緯
一般社団法人北九州タクシー協会に中間市内に営業所のあるタクシー事業者の中から運行事業者の推薦を依頼し、運行主体となる事業者を決定。
- ③ 地域内フィーダー系統の補足
中間市西部に位置する底井野校区では、平成 25 年 3 月末に西鉄バス中山中間線が廃止され、底井野校区の大部分が公共交通空白地となり、さらに平成 26 年 7 月に JR 筑豊本線の筑前垣生駅の無人駅化が行われるなど、利用者にとって利便性が低下し続けている状況にある。
運行形態に関して、底井野校区では、家屋が広く分布し人口密度が低い状況であることを考慮し、事前に予約して利用することで、地区の需要に対し適正で、経済的にも効率的な運行形態としている。また、既存の公共交通機関の利用を促進するために、東部地区においては、各停留所における乗降を制限している。

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者

中間市から運行事業者への補助金額については、運行経費から運行収入を差し引いた差額分を交付することとし、国庫補助金についても運行収入と同様、運行経費から差し引くものとする。

6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

【中間南校区路線】

有限会社ことぶきタクシー
ひかり第一交通株式会社
産業タクシー株式会社

【底井野校区路線】

有限会社ことぶきタクシー
ひかり第一交通株式会社

7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 <u>【活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】</u>
該当なし
8. 別表 1 の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
該当なし
9. 別表 1 の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
該当なし
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 <u>【地域内フィーダー系統のみ】</u>
地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 5」を添付
11. 車両の取得に係る目的・必要性 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
1) 事業の目標
該当なし
(2) 事業の効果
該当なし
13. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の負担者 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） <u>【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
該当なし

15. 協議会の開催状況と主な議論	
平成26年度	
5月20日（第1回）	交通会議設立、市の概要、交通体系の概要説明
7月23日（第2回）	小学校区別の地理的な特性について説明
9月26日（第3回）	モデル地区となる地域の選定
10月～11月	中間南校区を対象としたアンケート調査の実施
12月22日（第4回）	アンケート調査の結果報告、南校区をモデルとした事業計画及び運行計画案の説明
2月2日（第5回）	南校区をモデルとした事業計画及び運行計画について合意、生活交通ネットワーク計画素案の説明
平成27年度	
5月26日（第1回）	生活交通確保維持改善計画（旧生活交通ネットワーク計画）全体の合意
7月14日（第2回）	地域公共交通網形成計画等策定に向けた事業の実施内容及び計画策定スケジュールについて説明
7月～8月	底井野校区を対象としたアンケート調査の実施
10月	地域公共交通に関するアンケート調査の実施
10月28日（第3回）	底井野校区アンケート調査の結果報告、中間市における公共交通の課題について説明
12月18日（第4回）	地域公共交通に関するアンケート調査の結果報告、底井野校区予約型タクシー事業計画及び運行計画案の説明、地域公共交通網形成計画案（課題と方策）の説明
2月3日（第5回）	底井野校区予約型タクシー事業計画及び運行計画について合意、地域公共交通網形成計画案（実施施策）の説明
2月10日～3月10日	地域公共交通網形成計画案のパブリックコメントの実施
3月24日（第6回） 【書面開催】	地域公共交通網形成計画の合意、生活交通確保維持改善計画案の提示
平成28年度	
5月27日（第1回）	生活交通確保維持改善計画の合意
7月22日（第2回）	地域公共交通網形成計画推進事業の取り組み内容の説明
8月16日（第1回幹事会）	南校区コミュニティバス「フレンドリー号」の利用実態に関するアンケート調査票案及び公共交通マップ案の説明
10月3日～10月19日	南校区コミュニティバス「フレンドリー号」の利用実態に関するアンケート調査の実施
11月21日（第2回幹事会）	南校区コミュニティバス「フレンドリー号」の利用実態に関するアンケート調査の結果報告案の提示、底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の運行状況の説明
12月21日（第3回）	南校区コミュニティバス「フレンドリー号」の利用実態に関するアンケート調査結果及びモニタリング調査結果報告（案）の提示、公共交通マップ案の提示、底井野校区コミュニティバス「なかよ

	し号」の運行状況の報告
2月3日（第4回）	南校区モニタリング調査結果報告書及び公共交通マップの合意
平成29年度	
5月22日（第1回）	生活交通確保維持改善計画の合意
7月24日（第2回）	生活交通確保維持改善計画修正案の合意
8月21日（第1回幹事会）	底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の利用実態に関するアンケート調査票及び中間南校区住民座談会、路線バス沿線住民へのモビリティ・マネジメントの説明
9月27日～10月13日	底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の利用実態に関するアンケート調査の実施
10月18日、19日、23日、25日	中間南校区住民座談会の実施
10月31日～11月16日	路線バス沿線住民へのモビリティ・マネジメントの実施
11月13日（第2回幹事会）	底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の利用実態に関するアンケート調査及びモニタリング結果報告、中間南校区住民座談会結果報告
12月22日（第3回）	底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の利用実態に関するアンケート調査及びモニタリング結果報告書案及び中間南校区住民座談会報告書案、中間市モビリティ・マネジメント実施計画アンケート調査結果報告書案の提示
2月2日（第4回）	底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の利用実態に関するアンケート調査及びモニタリング結果報告書及び中間南校区住民座談会報告書、中間市モビリティ・マネジメント実施計画アンケート調査結果報告書の同意（予定）
平成30年度	
5月下旬（第1回）	生活交通確保維持改善計画の合意（予定）
16. 利用者等の意見の反映状況	
【中間南校区路線】 中間南校区を対象としたアンケート調査を実施し、買い物、病院への通院のための移動手段の確保を求める意見と、午前9時から11時、午後13時から15時までの間の運行を希望する意見が多かったことから、そちらに重点を置いた計画とした。	
【底井野校区路線】 底井野校区を対象としたアンケート調査を実施。また、利用者の希望する目的地から運行ルートを設定し、さらに住民の外出頻度等の現状を踏まえ、週に複数回利用できるよう、運賃を設定した。	

16. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	福岡県企画・地域振興部交通政策課
関係市区町村	中間市総合政策部住宅都市交通対策課
交通事業者・交通施設管理者等	九州旅客鉄道株式会社、西鉄バス北九州株式会社、筑豊電気鉄道株式会社、有限会社ことぶきタクシー、有限会社ホームタクシー、ひかり第一交通株式会社、産業タクシー株式会社、一般社団法人北九州タクシー協会、一般社団法人福岡県バス協会、西鉄バス北九州労働組合、福岡県北九州市土整備事務所、福岡県折尾警察署
地方運輸局	福岡運輸支局
その他協議会が必要と認める者	北九州市立大学地域戦略研究所教授、中間市自治会連合会、中間市自治会連合会中間北校区、中間市自治会連合会中間東校区、中間市自治会連合会中間南校区、中間市自治会連合会中間校区、中間市自治会連合会中間西区、中間市自治会連合会底井野校区、南校区バス運用協議会、中間市社会福祉協議会、中間商工会議所

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 福岡県中間市中間一丁目1番1号

(所 属) 中間市住宅都市交通対策課

(氏 名) 山口 研治

(電 話) 093-246-6155

(e-mail) juutakukoutuu@city.nakama.lg.jp

中間南校区乗合タクシー（路線定期）運行型の計画キロ数等の算出根拠

契約単価
276.3 円/km

1 平成31年度 運行計画

申請 番号	系統名	キロ程	平成31年度 運行計画																			備考 (運休日)							
			通常運行																キロ当たり 営業収益	営業経費	収支率(%) (輸送人員 2人／回) ※1便1人		目標収支率 (%) (輸送人員 4人／回) ※1便2人						
			1日当たり 運行回数								運行日数													計画 運行 日数	計画 運行 回数	輸送人員 (2人/回) ※1便1人	目標輸送人員 (4人/回) ※1便2人	通常運行 計画実車 走行キロ	営業収益
			月	火	水	木	金	土	日	祝日	月	火	水	木	金	土	日	祝日											
1	太賀・朝霧系統	12.0	4.0		4.0				4.0	42		50					10	102	408	816	1,632	4,896.0	150,960	30.83	1,352,765	11.16	22.32	お盆(8月13日～15日) 年末年始(12月29日～1 月3日)は運休。	
2	通谷・桜台系統	11.6		4.0			4.0		4.0		50			50			2	102	408	816	1,632	4,732.8	150,960	31.90	1,307,673	11.54	23.09		
合 計										42	50	50		50			12	204	816	1,632	3,264	9,628.8	301,920	31.36	2,660,437	11.35	22.70		

※運行回数は1往復を1回としている。
※輸送人員は、2人／回としている。
※営業収益は、運賃を定額185円として試算している。（消費税抜き）

2 平成32年度 運行計画

申請 番号	系統名	キロ程	平成32年度 運行計画																				備考 (運休日)					
			通常運行																	キロ当たり 営業収益	営業経費	収支率(%) (輸送人員 2人／回) ※1便1人		目標収支率 (%) (輸送人員 4人／回) ※1便2人				
			1日当たり 運行回数							運行日数							計画 運行 日数	計画 運行 回数	輸送人員 (2人/回) ※1便1人						目標輸送人員 (4人/回) ※1便2人	通常運行 計画実車 走行キロ	営業収益	
			月	火	水	木	金	土	日	祝日	月	火	水	木	金	土												日
1	太賀・朝霧系統	12.0	4.0		4.0				4.0	44		50					9	103	412	824	1,648	4,944.0	152,440	30.83	1,366,027	11.16	22.32	お盆(8月13日～15日) 年末年始(12月29日～1 月3日)は運休。
2	通谷・桜台系統	11.6		4.0			4.0			4.0		48			49		5	102	408	816	1,632	4,732.8	150,960	31.90	1,307,673	11.54	23.09	
合 計										44	48	50		49			14	205	820	1,640	3,280	9,676.8	303,400	31.35	2,673,700	11.35	22.70	

※運行回数は1往復を1回としている。
※輸送人員は、2人／回としている。
※営業収益は、運賃を定額185円として試算している。（消費税抜き）

3 平成33年度 運行計画

申請 番号	系統名	キロ程	平成33年度 運行計画																				備考 (運休日)						
			通常運行																	キロ当たり 営業収益	営業経費	収支率(%) (輸送人員 2人／回) ※1便1人		目標収支率 (%) (輸送人員 4人／回) ※1便2人					
			1日当たり 運行回数							運行日数							計画 運行 日数	計画 運行 回数	輸送人員 (2人/回) ※1便1人						目標輸送人員 (4人/回) ※1便2人	通常運行 計画実車 走行キロ	営業収益		
			月	火	水	木	金	土	日	祝日	月	火	水	木	金	土												日	祝日
1	太賀・朝霧系統	12.0	4.0		4.0				4.0	46		48					9	103	412	824	1,648	4,944.0	152,440	30.83	1,366,027	11.16	22.32	お盆(8月13日～15日) 年末年始(12月29日～1 月3日)は運休。	
2	通谷・桜台系統	11.6		4.0			4.0			4.0		49			50			2	101	404	808	1,616	4,686.4	149,480	31.90	1,294,852	11.54		23.09
合 計										46	49	48		50			11	204	816	1,632	3,264	9,630.4	301,920	31.35	2,660,880	11.35	22.69		

※運行回数は1往復を1回としている。
※輸送人員は、2人／回としている。
※営業収益は、運賃を定額185円として試算している。（消費税抜き）

底井野校区予約型乗合タクシー（区域運行型）の計画キロ数等の算出根拠

メータ運賃見込単価
279.1円／km

1 平成31年度 運行計画

申請 番号	系統名	キロ程 (平均)	平成31年度 運行計画																							備考 (運休日)			
			通常運行														運行想定(輸送人員・実車キロ・営業収益・営業経費・収支率)												
			1日当たり 運行回数							運行日数							計画運行 日数	1回当たりの サービス 提供時間 ※ここでの1回は 1便とする。	計画運行回 数 ※全8便中7 便	計画サービス 提供時間	輸送人員 (1人/回) ※1便1人	目標輸送人員 (2人/回) ※1便2人	計画実車走行キロ (1便あたり平均走行キロ) 垣生・下大隈系統 3.8km 砂山・底井野系統 4.2km ※H28.10～H29.9	営業収益	キロ当たり 営業収益		営業経費	収支率(%) (輸送人員 1人/回) ※1便1人	目標収支率 (%) (輸送人員 2人/回) ※1便2人
			月	火	水	木	金	土	日	祝日	月	火	水	木	金	土													
3	垣生・下大隈系統	10.1	8.0		8.0				8.0	42		50					10	102	1.00	714	714	714	1,428	2,713.2	132,090	48.68	757,254	17.44	34.89
4	砂山・底井野系統	10.4		8.0			8.0		8.0		50			50			2	102	1.00	714	714	714	1,428	2,998.8	132,090	44.05	836,965	15.78	31.56
合 計										42	50	50		50			12	204	1.00	1,428	1,428	1,428	2,856	5,712.0	264,180	46.25	1,594,219	16.57	33.14

お盆(8月13日～15日)
年末年始(12月29日～1
月3日)は運休。

2 平成32年度 運行計画

申請 番号	系統名	キロ程 (平均)	平成32年度 運行計画																							備考 (運休日)				
			通常運行														運行想定(輸送人員・実車キロ・営業収益・営業経費・収支率)													
			1日当たり 運行回数							運行日数							計画運行 日数	1回当たりの サービス 提供時間 ※ここでの1回は 1便とする。	計画運行回 数 ※全8便中7 便	計画サービス 提供時間	輸送人員 (1人/回) ※1便1人	目標輸送人員 (2人/回) ※1便2人	計画実車走行キロ (1便あたり平均走行キロ) 垣生・下大隈系統 3.8km 砂山・底井野系統 4.2km ※H28.10～H29.9	営業収益	キロ当たり 営業収益		営業経費	収支率(%) (輸送人員 1人/回) ※1便1人	目標収支率 (%) (輸送人員 2人/回) ※1便2人	
			月	火	水	木	金	土	日	祝日	月	火	水	木	金	土														日
3	垣生・下大隈系統	10.1	8.0		8.0				8.0	44		50					9	103	1.00	721	721	721	1,442	2,739.8	133,385	48.68	764,678	17.44	34.89	お盆(8月13日～15日) 年末年始(12月29日～1 月3日)は運休。
4	砂山・底井野系統	10.4		8.0			8.0		8.0		48			49			5	102	1.00	714	714	714	1,428	2,998.8	132,090	44.05	836,965	15.78	31.56	
合 計										44	48	50		49			14	205	1.00	1,435	1,435	1,435	2,870	5,738.6	265,475	46.26	1,601,643	16.58	33.15	

3 平成33年度 運行計画

申請 番号	系統名	キロ程 (平均)	平成33年度 運行計画																							備考 (運休日)			
			通常運行														運行想定(輸送人員・実車キロ・営業収益・営業経費・収支率)												
			1日当たり 運行回数							運行日数							計画運 行日数	1回当たりの サービス 提供時間 ※ここでの1回は 1便とする。	計画運行回 数 ※全8便中7 便	計画サービス 提供時間	輸送人員 (1人/回) ※1便1人	目標輸送人員 (2人/回) ※1便2人	計画実車走行キロ (1便あたり平均走行キロ) 垣生・下大隈系統 3.8km 砂山・底井野系統 4.2km ※H28.10～H29.9	営業収益	キロ当たり 営業収益		営業経費	収支率(%) (輸送人員 1人/回) ※1便1人	目標収支率 (%) (輸送人員 2人/回) ※1便2人
			月	火	水	木	金	土	日	祝日	月	火	水	木	金	土													
3	垣生・下大隈系統	10.1	8.0		8.0				8.0	46		48					9	103	1.00	721	721	721	1,442	2,739.8	133,385	48.68	764,678	17.44	34.89
4	砂山・底井野系統	10.4		8.0			8.0		8.0		49			50			2	101	1.00	707	707	707	1,414	2,969.4	130,795	44.05	828,760	15.78	31.56
合 計										46	49	48		50			11	204	1.00	1,428	1,428	1,428	2,856	5,709.2	264,180	46.27	1,593,438	16.58	33.16

お盆(8月13日～15日)
年末年始(12月29日～1
月3日)は運休。

- ※運行回数は1便を1回としている。
※輸送人員は、1人／回としている。
※営業収益は、運賃を定額185円として試算している。(消費税抜き)
※底井野校区予約型乗合タクシーの1回当たりのサービス提供時間の考え方(※ここでの1回は1便とする。)
(1)サービス提供時間:8時00分から12時15分まで(255分)、13時00分から17時15分(255分)計510分(8時間30分)
(内訳)
①午前出庫:8時から8時15分(15分)、②午前運行時間:8時15分から12時まで(待機時間:15分×3回)(225分)、③午前帰庫:12時から12時15分(15分) 午前計 255分
④午後出庫:13時から13時15分(15分)、⑤午後運行時間:13時15分から17時まで(待機時間:15分×3回)(225分)、⑥午後帰庫:17時から17時15分(15分) 午後計 255分
(2)実運行時間:運行時間45分×8便+回送時間60分(出庫15分*2回、帰庫15分*2回)=420分
(3)待機時間:15分待機*6回=90分(1日当たりの平均待機時間)
(4)1回当たりの平均実運行時間:実運行時間420分/運行回数8回=52.5分 ※ここでの運行回数は、1便とする。
(5)1回当たりのサービス提供時間:1回当たりの平均実運行時間(52.5分)+(1日当たりの平均待機時間90分/1日当たりの運行回数(8回))=63.75分÷1.0625時間÷1時間

中間市地域内フィーダー系統確保維持計画（H31年からH33年）の策定に向けて

1 今後の運行改善に向けた取組について

（１）基本方針

中間市地域公共交通網形成計画の基本方針に基づいて実施。

体系的な交通ネットワークを整備するとともに、利便性の向上、交通環境の整備により周辺地域との交流及び都市内の円滑な移動を支えるネットワークの構築



地域公共交通ネットワークの構築

（２）運行改善に向けた取組内容

1）南校区コミュニティバス「フレンドリー号」

下記取組内容の7つの分類項目の中でも、①運行ルートの改善、②運行日数、便数の改善、③運行時間帯の改善について、運行状況を分析しながら検討を行う。

分類 項目	今後の取組内容
1	運行ルートの改善 ① 利用者のいない停留所の見直し、及び地域の実情に適した運行ルートの検討 ② 予約型乗合タクシーの検討 ③ 西鉄バスとフレンドリー号の連携の検討
2	運行日数・便数の改善 ① 空き便を見直し、効率的な運行の検討 ② 定時定路線運行の経費と予約型運行の経費の比較検討
3	運行時間帯の改善 ① 運行間隔や空き便を見直し、効率的な運行の検討
4	追走運行便の改善 ① 運行体制の管理徹底
5	車両の大きさ・乗り心地・車両表示の改善 ① 運行状況を分析し、運行面・経済面からみてもっとも効率のよい車両の検討 ② 車両表示の明確化・周知の検討
6	停留所の改善 ① 運行マップ・広報なかまを活用した周知及び近隣市町村の取組の研究
7	運行方法の改善 ① 利便性のある移動手段を継続的に安全に提供できるよう予約制運行や近隣市町村の取組などを地域公共交通会議や市関係各課・関係者と検討

2) 底井野校区コミュニティバス「なかよし号」

利用実態に関するアンケート調査から、下記の運行に対する要望や不便な点、利用しない理由を平成30年度に開催する住民座談会において直接住民ニーズを把握した上で、運行状況を分析しながら運行改善に向けた検討を行う。

①なかよし号の運行に対する要望

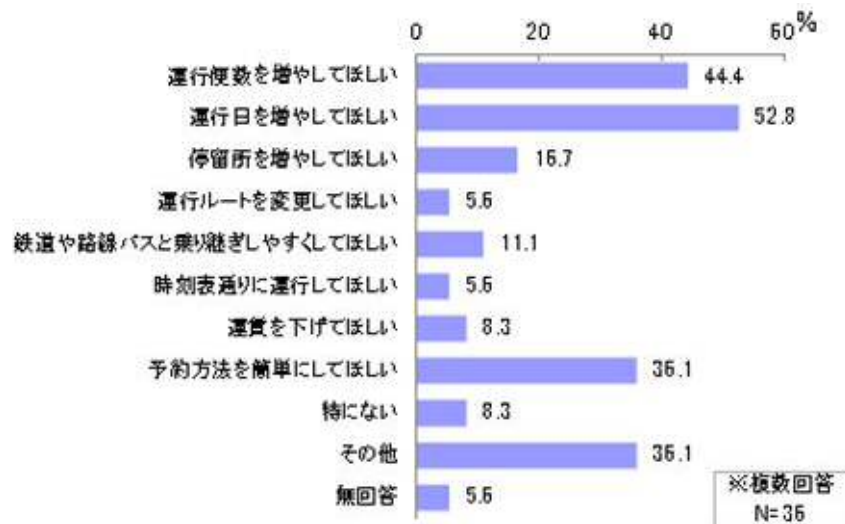


図 なかよし号の運行に対する要望

②なかよし号の不便な点、利用しない理由



図 なかよし号の不便な点、利用しない理由

2 フレンドリー号の運行実績

1) 太賀・朝霧系統（月曜・水曜日運行）

①運行状況

【運行1年目（平成27年10月～平成28年9月）】

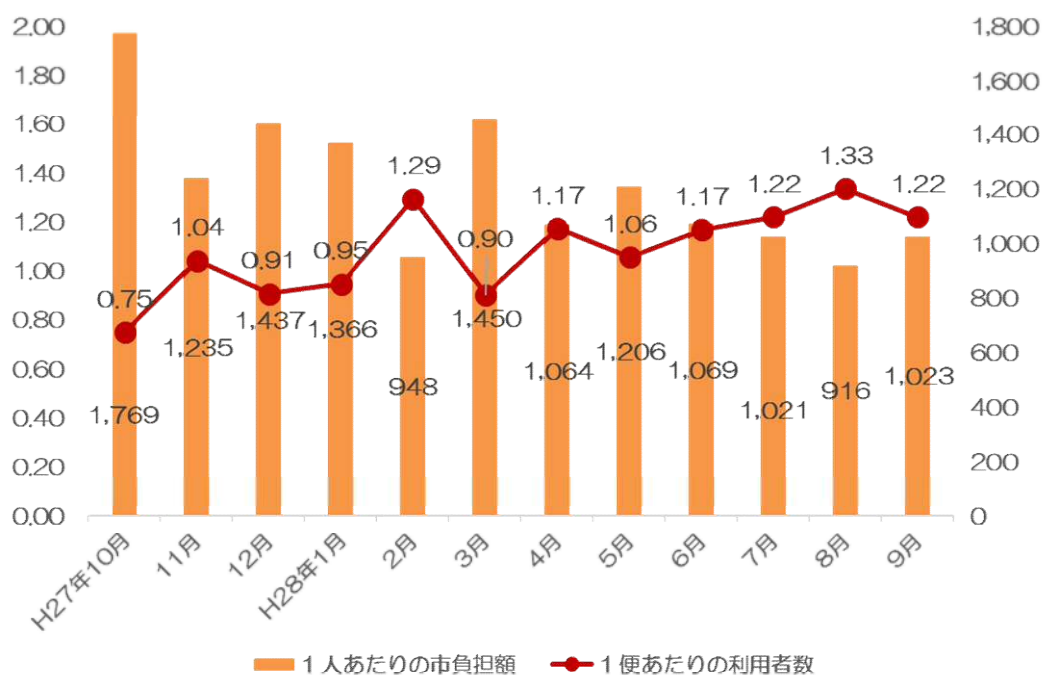
運行期間	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担 (円/人)
年計 (H27年10月～H28年9月)	808	879	1,185,215	160,900	1,024,315	1.09	1,165

【運行2年目（平成28年10月～平成29年9月）】

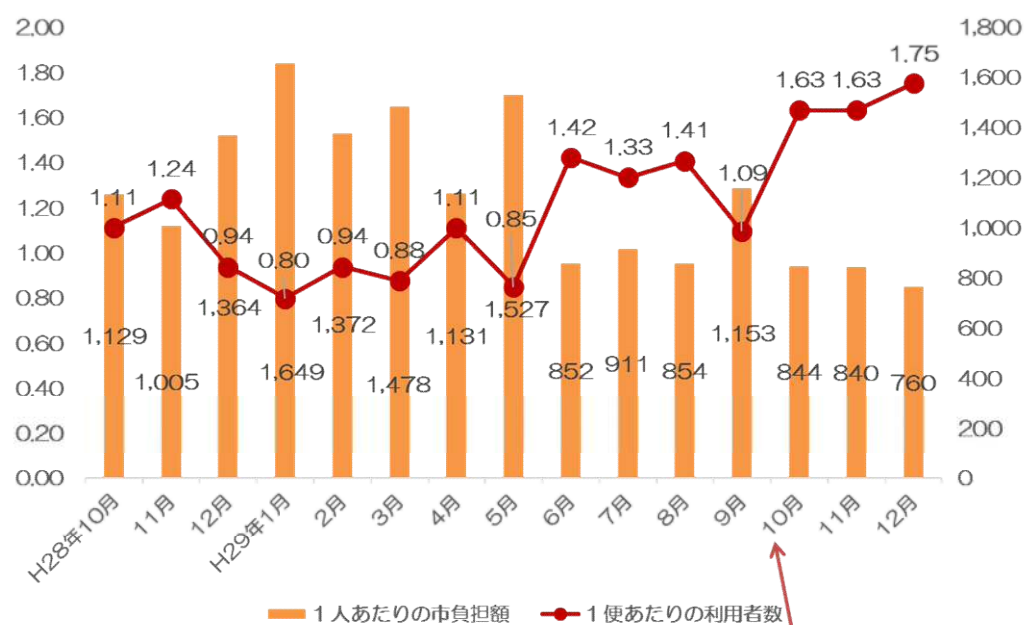
運行期間	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担 (円/人)
年計 (H28年10月～H29年9月)	816	889	1,199,930	172,100	1,027,830	1.09	1,156
(参考数値) 平成29年10月	72	117	121,358	22,600	98,758	1.63	844
11月	72	117	120,358	22,100	98,258	1.63	840
12月	64	112	106,096	21,000	85,096	1.75	760

②各月の1便あたりの利用数と1人あたりの市負担額

【運行1年目（平成27年10月～平成28年9月）】



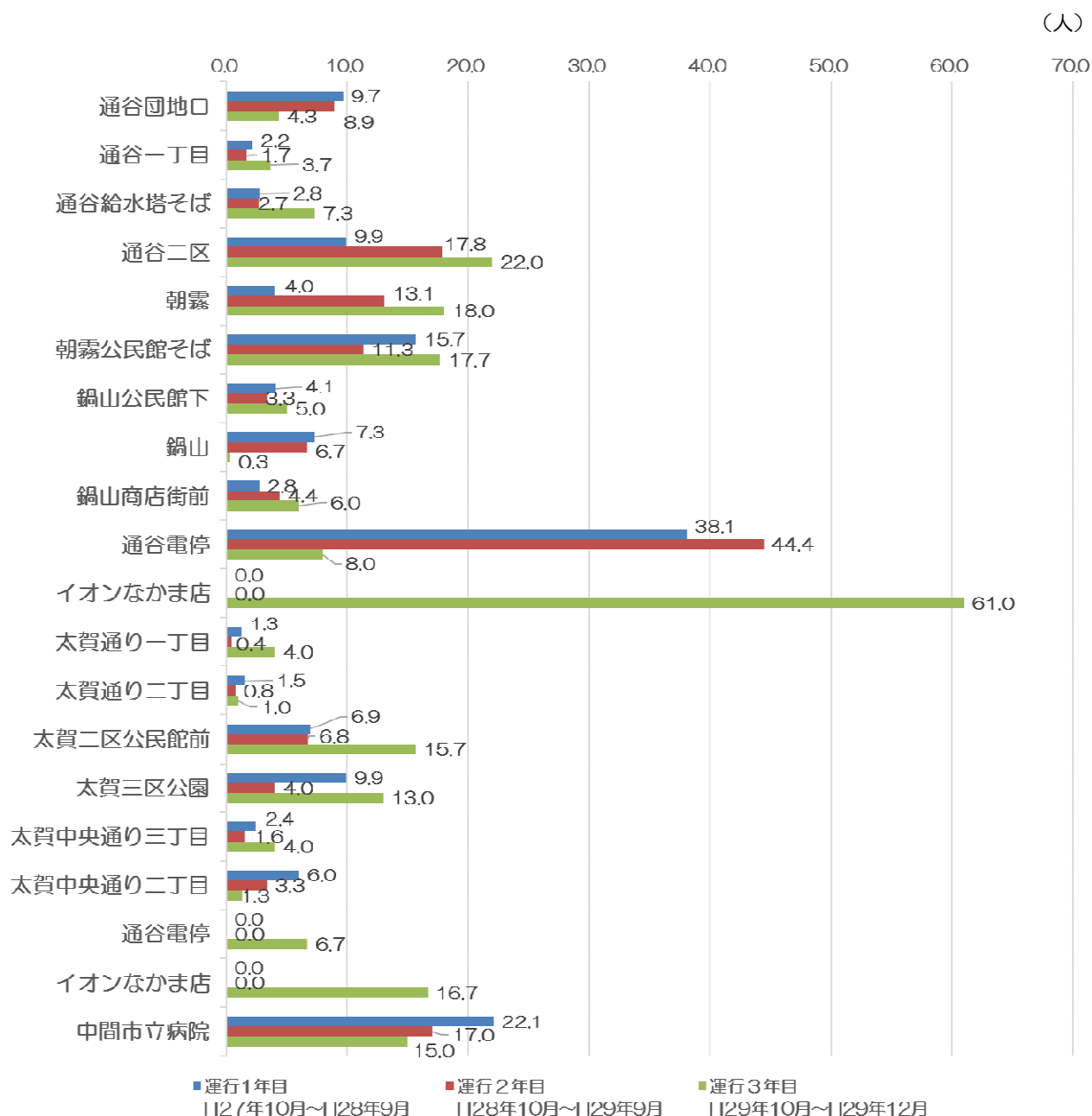
【運行2年目（平成28年10月～平成29年9月）】



イオンなかま停留所新設

③各停留所月平均乗降者数

停留所名称	平成27年10月から平成28年9月まで				平成28年10月から平成29年9月まで				平成29年10月から平成29年12月まで			
	乗車人数	降車人数	乗降者計	月平均乗降者	乗車人数	降車人数	乗降者計	月平均乗降者	乗車人数	降車人数	乗降者計	月平均乗降者
通谷団地口	71	45	116	9.7	52	55	107	8.9	9	4	13	4.3
通谷一丁目	14	12	26	2.2	9	11	20	1.7	9	2	11	3.7
通谷給水塔そば	21	12	33	2.8	20	12	32	2.7	8	14	22	7.3
通谷二区	43	76	119	9.9	85	129	214	17.8	27	39	66	22.0
朝霧	17	31	48	4.0	63	94	157	13.1	22	32	54	18.0
朝霧公民館そば	107	81	188	15.7	67	69	136	11.3	22	31	53	17.7
鍋山公民館下	25	24	49	4.1	28	12	40	3.3	5	10	15	5.0
鍋山	33	55	88	7.3	47	33	80	6.7	1	0	1	0.3
鍋山商店街前	5	28	33	2.8	16	37	53	4.4	5	13	18	6.0
通谷電停	276	181	457	38.1	339	194	533	44.4	3	21	24	8.0
イオンなかま店（H29年10月新設）	-	-	-	-	-	-	-	-	128	55	183	61.0
太賀通り一丁目	9	6	15	1.3	2	3	5	0.4	1	11	12	4.0
太賀通り二丁目	14	4	18	1.5	7	2	9	0.8	2	1	3	1.0
太賀二区公民館前	36	47	83	6.9	41	40	81	6.8	18	29	47	15.7
太賀三区公園	70	49	119	9.9	34	14	48	4.0	18	21	39	13.0
太賀中央通り三丁目	23	6	29	2.4	18	1	19	1.6	10	2	12	4.0
太賀中央通り二丁目	42	30	72	6.0	20	20	40	3.3	2	2	4	1.3
通谷電停（H29年10月新設）	-	-	-	-	-	-	-	-	6	14	20	6.7
イオンなかま店（H29年10月新設）	-	-	-	-	-	-	-	-	39	11	50	16.7
中間市立病院	73	192	265	22.1	41	163	204	17.0	11	34	45	15.0
計	879	879	1,758		889	889	1,778		346	346		



2) 通谷・桜台系統（火曜・金曜日運行）

①運行状況

【運行1年目（平成27年10月～平成28年9月）】

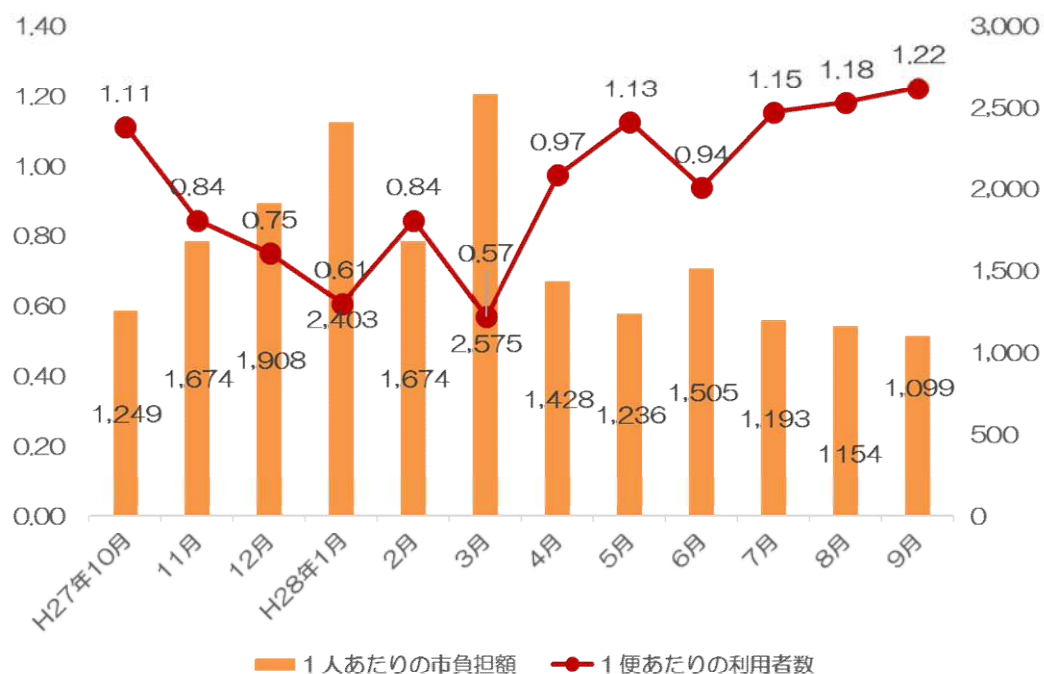
運行期間	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担 (円/人)
年計 (H27年10月 ～H28年9月)	816	778	1,292,098	148,400	1,143,698	0.95	1,470

【運行2年目（平成28年10月～平成29年9月）】

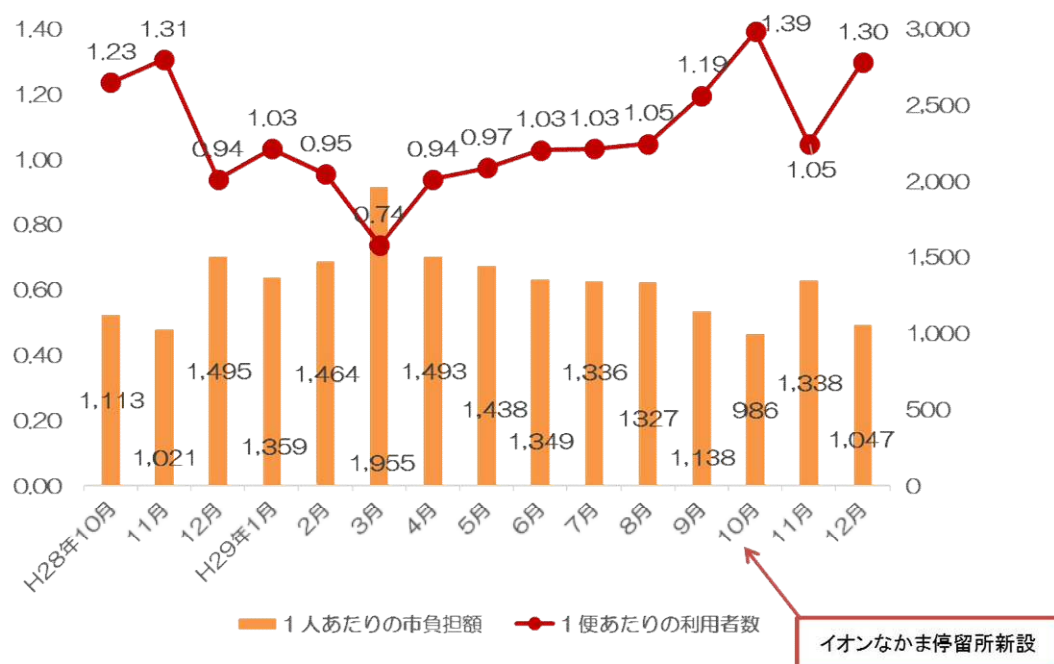
運行期間	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担 (円/人)
年計 (H28年10月 ～H29年9月)	808	836	1,277,499	156,300	1,121,199	1.03	1,341
(参考数値) 平成29年10月	72	100	117,380	18,800	98,580	1.39	986
11月	64	67	102,560	12,900	89,660	1.05	1,338
12月	64	83	102,560	15,700	86,860	1.30	1,047

②各月の1便あたりの利用数と1人あたりの市負担額

【運行1年目（平成27年10月～平成28年9月）】



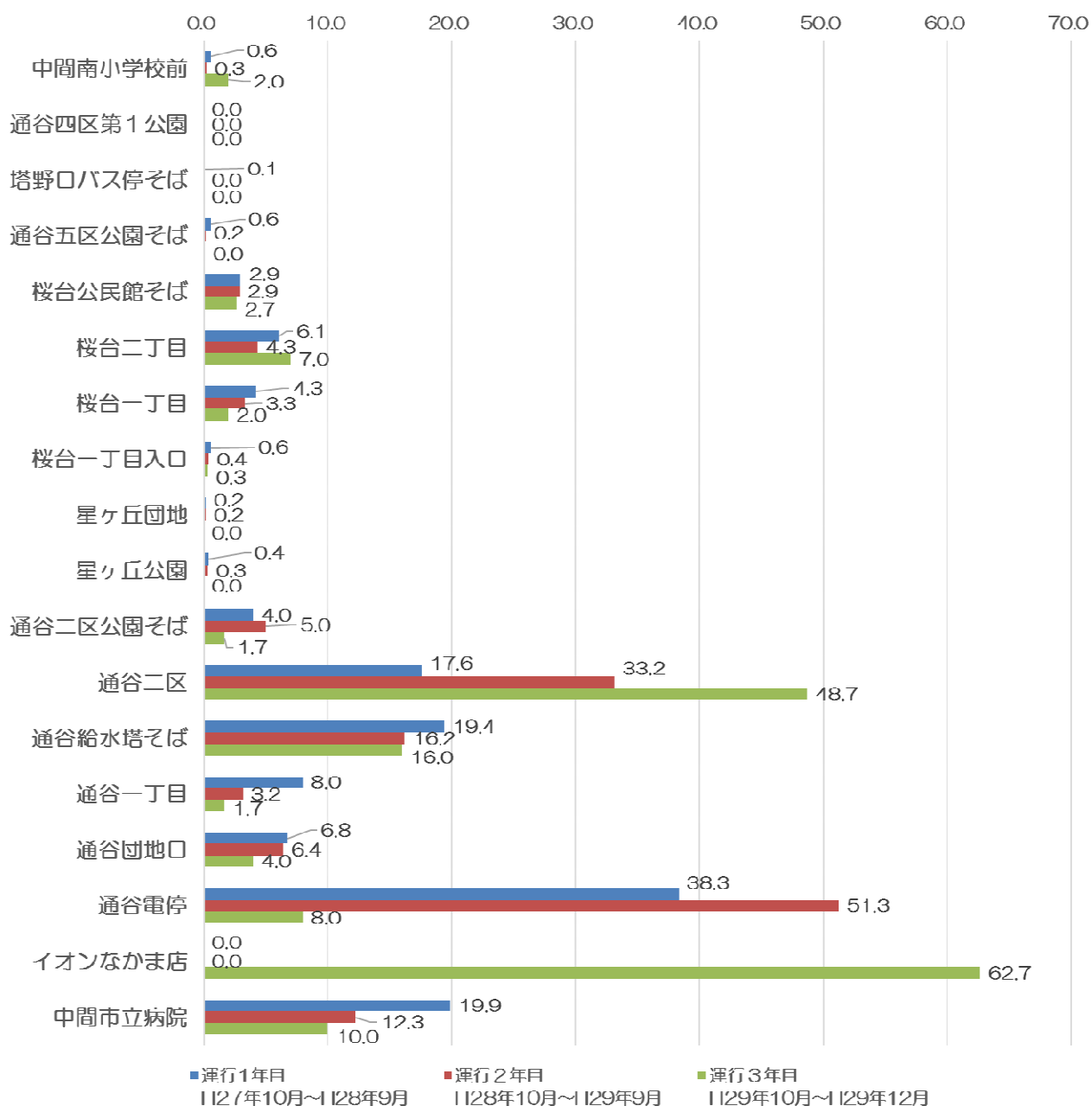
【運行2年目（平成28年10月～平成29年9月）】



③各停留所月平均乗降者数

停留所名称	平成27年10月から平成28年9月まで				平成28年10月から平成29年9月まで				平成29年10月から平成29年12月まで			
	乗車人数	降車人数	乗降者計	月平均乗降者	乗車人数	降車人数	乗降者計	月平均乗降者	乗車人数	降車人数	乗降者計	月平均乗降者
中間南小学校前	3	4	7	0.6	0	3	3	0.3	3	3	6	2.0
通谷四区第1公園	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
塔野口バス停そば	1	0	1	0.1	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
通谷五区公園そば	5	2	7	0.6	1	1	2	0.2	0	0	0	0.0
桜台公民館そば	28	7	35	2.9	24	11	35	2.9	4	4	8	2.7
桜台二丁目	60	13	73	6.1	15	37	52	4.3	3	18	21	7.0
桜台一丁目	31	20	51	4.3	24	16	40	3.3	2	4	6	2.0
桜台一丁目入口	4	3	7	0.6	4	1	5	0.4	1	0	1	0.3
星ヶ丘団地	2	0	2	0.2	0	2	2	0.2	0	0	0	0.0
星ヶ丘公園	3	2	5	0.4	1	3	4	0.3	0	0	0	0.0
通谷二区公園そば	19	29	48	4.0	23	37	60	5.0	3	2	5	1.7
通谷二区	112	99	211	17.6	182	216	398	33.2	57	89	146	48.7
通谷給水塔そば	91	142	233	19.4	62	132	194	16.2	20	28	48	16.0
通谷一丁目	62	34	96	8.0	24	14	38	3.2	5	0	5	1.7
通谷団地口	45	36	81	6.8	41	36	77	6.4	8	4	12	4.0
通谷電停	276	184	460	38.3	400	215	615	51.3	5	19	24	8.0
イオンなかま店（H29年10月新設）	-	-	-	-	-	-	-	-	129	59	188	62.7
中間市立病院	36	203	239	19.9	35	112	147	12.3	10	20	30	10.0
計	778	778			836	836			250	250		

(人)



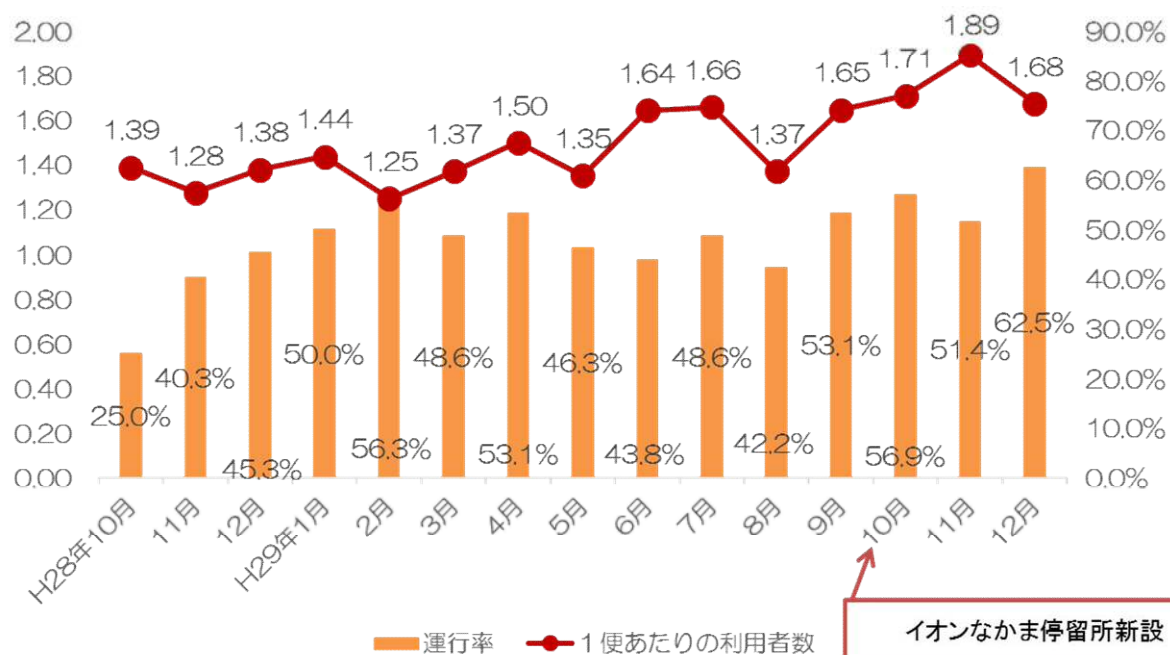
3 なかよし号の1年間の運行実績（平成28年10月～平成29年9月）

1）垣生・下大隈系統（月曜・水曜予約制運行）

①運行状況

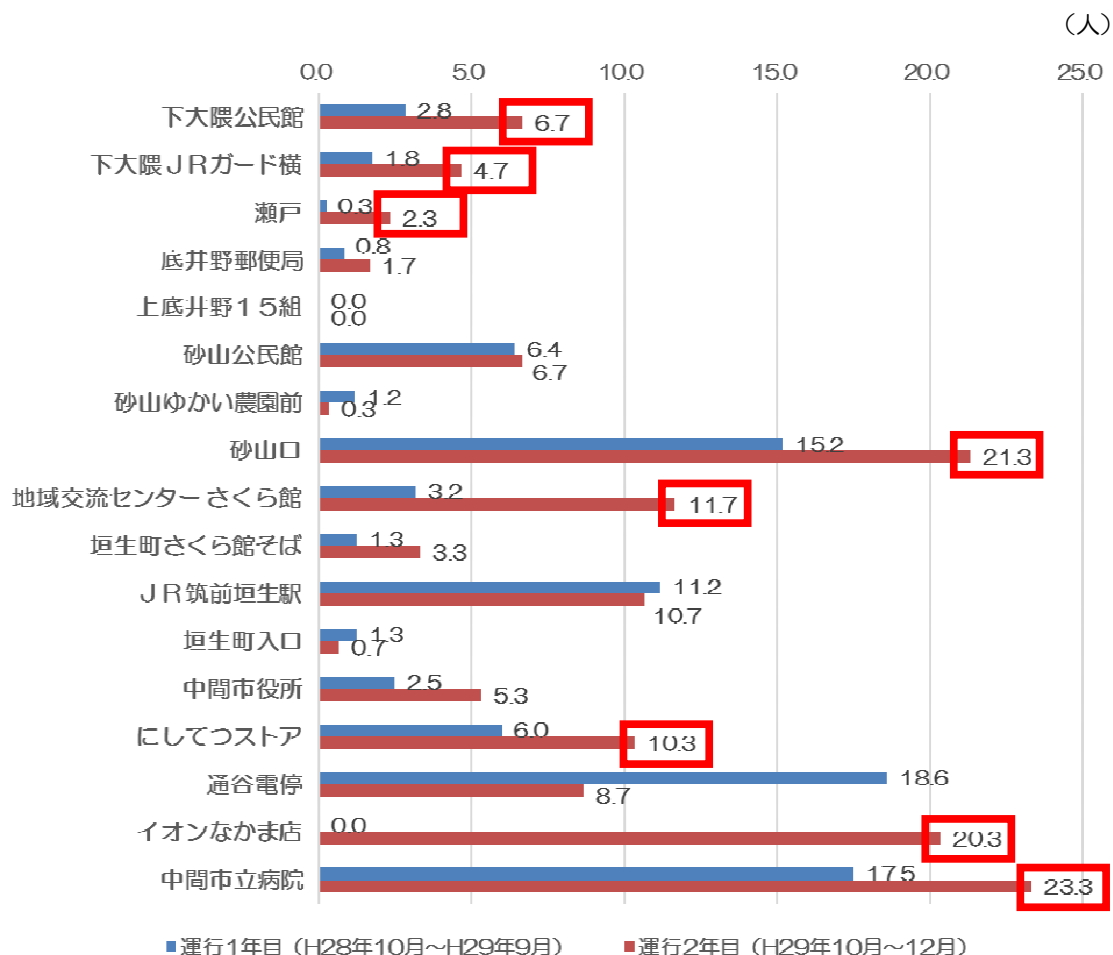
運行期間	運行便数(便)	運行率(%)	利用総数(人)	運行経費(円)	運賃収入(円)	市の補てん額(円)	運行1便あたりの平均利用者数(人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担(円/人)
年計 (H28年10月～H29年9月)	374	45.8%	539	470,390	86,100	384,290	1.44	713
(参考数値) H29年10月	41	56.9%	70	54,400	11,700	42,700	1.71	610
11月	37	51.4%	70	53,840	11,300	42,540	1.89	608
12月	40	62.5%	67	51,040	10,100	40,940	1.68	611
※運行便数に追走運行便を含む。								

②各月の1便あたりの利用者数と運行率



③各停留所月平均乗降者数

停留所名称	H28年10月からH29年9月まで				H29年10月から12月まで			
	乗車人数	降車人数	乗降者計	月平均乗降者	乗車人員	降車人員	乗降者計	月平均乗降者
下大隈公民館	19	15	34	2.8	11	9	20	6.7
下大隈JRガード横	17	4	21	1.8	11	3	14	4.7
瀬戸	1	2	3	0.3	3	4	7	2.3
底井野郵便局	10	0	10	0.8	5	0	5	1.7
上底井野15組	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
砂山公民館	69	8	77	6.4	18	2	20	6.7
砂山ゆかい農園前	9	5	14	1.2	0	1	1	0.3
砂山口	99	83	182	15.2	33	31	64	21.3
地域交流センター さくら館	19	19	38	3.2	17	18	35	11.7
垣生町さくら館そば	10	5	15	1.3	5	5	10	3.3
JR筑前垣生駅	90	44	134	11.2	26	6	32	10.7
垣生町入口	11	4	15	1.3	2	0	2	0.7
中間市役所	3	27	30	2.5	2	14	16	5.3
にしてつストア	46	26	72	6.0	17	14	31	10.3
通谷電停	50	173	223	18.6	3	23	26	8.7
イオンなかま店 (H29年10月新設)	0	0	0	0.0	21	40	61	20.3
中間市立病院	86	124	210	17.5	33	37	70	23.3
計	539	539			207	207		



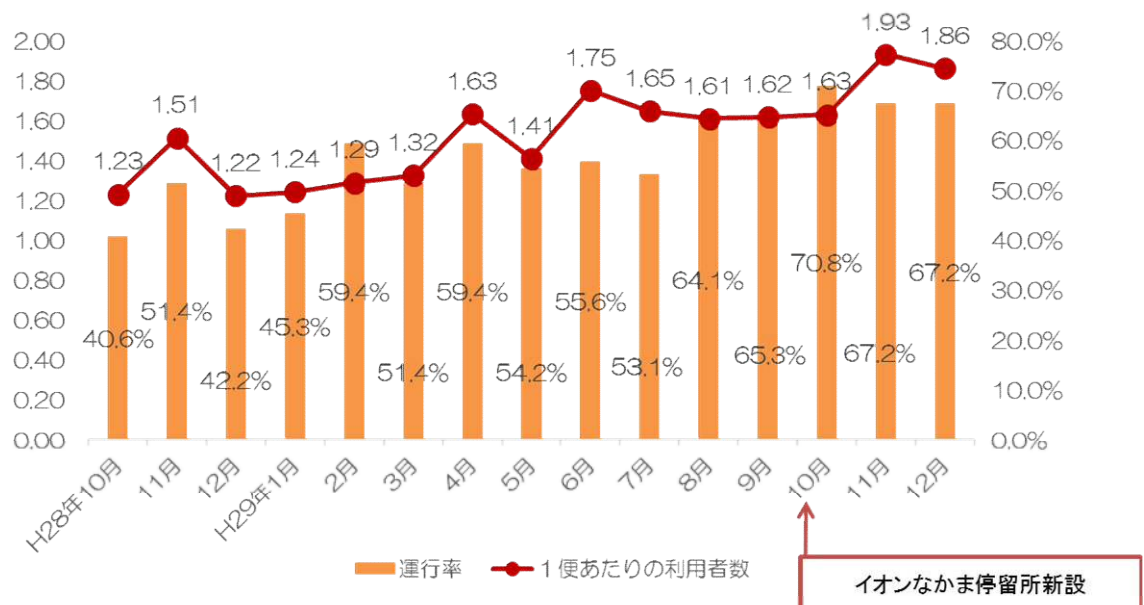
2) 砂山・底井野系統（火曜・金曜日予約制運行）

①運行状況

運行期間	運行便数(便)	運行率(%)	利用総数(人)	運行経費(円)	運賃収入(円)	市の補てん額(円)	運行1便あたりの平均利用者数(人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担(円/人)
年計 (H28年10月～ H29年9月)	433	53.6%	640	577,510	111,800	465,710	1.48	728
【参考数値】 H29年10月	51	70.8%	83	70,510	14,100	56,410	1.63	680
11月	43	67.2%	83	59,470	13,800	45,670	1.93	550
12月	43	67.2%	80	60,950	13,100	47,850	1.86	598

※運行便数に追走運行便を含む。

②各月の1便あたりの利用者数と運行率



③各停留所月平均乗降者数

停留所名称	H28年10月からH29年9月まで				H29年10月から12月まで			
	乗車人数	降車人数	乗降者計	月平均乗降者	乗車人員	降車人員	乗降者計	月平均乗降者
砂山7組	1	0	1	0.1	0	0	0	0.0
三軒屋会館	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
中底井野記念碑	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
中底井野校区3組	88	1	89	7.4	19	0	19	6.3
中底井野公民館	16	12	28	2.3	3	2	5	1.7
上底井野7組入口	1	0	1	0.1	0	0	0	0.0
上底井野公民館	15	12	27	2.3	5	6	11	3.7
底井野小学校横	22	9	31	2.6	5	4	9	3.0
シルバー人材センター	32	22	54	4.5	16	19	35	11.7
地域交流センターさくら館	88	40	128	10.7	24	16	40	13.3
垣生町さくら館そば	67	53	120	10.0	48	34	82	27.3
JR筑前垣生駅	97	57	154	12.8	32	9	41	13.7
垣生町入口	8	9	17	1.4	4	2	6	2.0
中間市役所	5	12	17	1.4	0	7	7	2.3
にしてつストア	77	180	257	21.4	28	55	83	27.7
通谷電停	69	146	215	17.9	12	14	26	8.7
イオンなかま店（H29年10月新設）	0	0	0	0.0	19	26	45	15.0
中間市立病院	54	87	141	11.8	31	52	83	27.7
計	640	640			246	246		

